

詠む広場

井上 康明 選

最優秀

八ヶ岳その峰々に夏来たる

川崎市 久保田秀司

優秀

身の影と地続きにして春の土

直方市 岩野 伸子

天上の兜太ふふむやうるか汁

浜松市 久野 茂樹

片山由美子 選

最優秀

閉店のあすなる書房燕来る

川崎市 峰尾 雅彦

優秀

入院の日も朝顔に水をやり

東久留米市 矢作 輝

焼きそばにソースも秋の日も絡め

大洲市 坂本 梨帆

小川 軽舟 選

最優秀

花冷の屋台湯切りのてば高く

下野市 石井 光

優秀

スタジアム竣工近し春隣

尼崎市 松井 博介

雁供養古き手紙をともに焚き

葛城市 山本 啓

西村 和子 選

最優秀

雛壇に近づけばすく抱きとられ

神戸市 中林 照明

優秀

母の日や実家は縁側より入る

横浜市 正谷 民夫

葉牡丹やぎしぎし太る音がする

白井市 毘舎利道弘

△評▽身辺の自然に巡り来る季節と、作者はどのように会話しているのだろう。作者の思いが潜むその声を聴きたいと思ひ選に当たっている。久保田さんの描く八ヶ岳は、八つの峰がそびえ、荒々しい山肌が見える。健やかでさわやかな夏の到来、登山を誘う夏山賛歌である。岩野さんの描く影の情景は、柔らかな春の土のこまやかな感受を思わせる。自身と春の土が地続きに溶けあっている。久野さんの句、うるか汁が秋の豊穣を語る。金子兜太の破顔が浮かび、野太い笑い声が聞こえる。

△評▽俳句は時代を反映する。各地で書店が閉店していることを詠んだ作品がいくつかあったが、峰尾さんの句は詩情が豊かであることに注目した。あすなる書房という固有名詞と季語の取り合わせの妙味である。矢作さんの作品は、朝顔に水をやるという日常の繰り返し、入院する日にもとの驚きを読者に与える。坂本さんの句は若い作者らしい明るさと勢いがある。ネット投稿が定着してきたよう、20代の作者がふえ、幅広い世代の作品に出合えるのが楽しみであった。

△評▽短い詩型ながら、俳句が読者にもたらす情報量は意外に多い。それは読者の想像力が働くから。特に季語はイメージを広げる鍵になる。石井さんの句は屋台のラーメン屋という庶民的な題材だが、花冷の季語を得て桜の季節が背景に広がる。てぼ」という小道具も生きて詩情すら感じる情景になった。松井さんの句は、街がにぎやかに変わっていく期待感を春隣の季語が表している。山本さんは、雁供養という季語のはかなさをくみ取って情感のある一句に仕立てた。

△評▽日常の情景や行動に目を止め心を止めて詠まれた作品に、表現の工夫や実感や季語の力が掛け合わせられる時、俳句の世界は広がる。中林さんの作は省略されている主語の動きが生きて生きと見えてくる。下五の表現も適切で、動きが停止していない。正谷さんの句から知らないはずの家が、懐かしさを伴って見えてくるから不思議。毘舎利さんは自分にはこう聞こえたことと断定し、実感が共感と呼んだ。いずれも季語が大きい語っていることは、言うまでもない。

毎日歌壇賞・毎日俳壇賞 2025年



<歌集>

新刊

<句集>

◇宇多喜代子『俳句とともに わが半生の記』90年の生涯を語り下ろした初の自伝。聞き手神野紗希。子ども時代の原体験、原風景に始まり、俳句や桂子らとの出会い、中上健次と熊野大学などについてクリアな文体で語られている。「俳句がなくなるとは、何が大切か」ということ、やはり定型詩だということ、という発言が印象深い。(朝出版・20200円)

◇坂本昌隆『ゆるやかな距離』第4句集。一句一句の措辞が柔らかな、読後感の華やかな一冊である。紫の闇へ(折き)を打つ初雪届く。ヴェネチアンガラスあふるほどミモザ。△上りつ月の輪郭定まりぬ(角川文化振興財団・20270円)

◇益岡葉美『雨の器』第2句集。現代的な内容と古典的な定型詩の折り合いがおもしろい。△空蟬(うつせみ)の雨の器となりけり。△重ね着の中心に安らげし。△芹(せり)の香に分け入る。△根を洗ふ。△ふらんす堂・3190円 (俳人・榎未知子)

◇日高聖子『日在浜(ひありはま)』季節感などが希薄になっていくなか、感受性豊かに選り抜かれた言葉で日々を捉える。編年体で構成した第11歌集。△書肆(しよし)に寄るならひ失(な)くした夫(つま)の老いさびしと思ひつ(幸ひら)く。(角川書店・28600円)

◇桑原正紀『妻熟るころ』社会に広く目を向けて時代と人間を詠む第10歌集。闘病生活20年目にいらんとする妻を亡くした歌に深い哀感がある。△奪ひ合ひはもう始まつてゐるウクライナもガザ地区も近未来図にして。(本阿弥書店・20270円)

◇梅崎美奈編『鴉からす』は硝子(ガラス)のフリルで踊る。書店員である著者が、魅了された歌人たち前川佐美雄・河野愛子・永井陽子・石川美南・佐藤弓生らの147首を収録。△行きて負あかなしみぞこ鳥髪(とりかみ)に雪降るさらば明日も降りなむ 山中智恵子(河出書房新社・25300円)

(歌人・中川和子)